

‘08年11月22日太郎坊観望会

by kuma

11月22日。好天の予報を受け、急きょ富士山五合目に行ってきました。

所轄の土木事務所には、この三連休明けの25日には五合目に至るゲートが閉鎖される事を事前に確認しており、この日が**今シーズン最後の五合目**と言う事になります。

と言ってもさすがに極寒確実の富士宮口には登る気力もなく、標高の低い太郎坊での臨時観望会開催となりました。

今日は久し振りに**アストロ鍋**をやろうと言う事で、現地にはいつもより早めの15時過ぎに到着。麓のコンビニで会長と合流し、並んで太郎坊に上がると既にヒデアキさんの車が駐車場に停めてあり、どうやら愛犬のリリーと周辺に散策に出掛けているようです。現地の気温は到着時点で既に3℃。今夜は氷点下確実ですが、風さえなければなんとかしのげるコンディションです。やがてうらしまさん&ねこさんも到着し、ほどなく散策から戻ったヒデアキさんとリリーも合流します。

到着早々、ねこさんに飛びつくリリー。
相変わらず元気いっぱいです。



Photo うらしま

明るい内に机と椅子を並べ、機材を仮組みしたところです。奥には自衛隊車と無線用のアンテナが見えます。



Photo うらしま

生憎と空の方は高層の雲が広がり、今年の観望会コンディションを象徴するような空になってきました。今日はどちらかと言うとアストロ鍋の方が主役で、観望はオマケのような物でしたから気にしません。

残りのメンバーも徐々に到着。

みんなお腹も空いたようで、早速鍋の準備に取り掛かります。

鍋の出来上がり。

今日は何名の仲間が揃うのか判らなかったので、今回は調理の楽な水炊きにしてみました。紅鮭、銀タラ、牡蠣、肉団子、つみれ、豆腐、うどん、白菜、ネギ、しいたけ、えのき茸など、いろいろな具が盛り沢山入っています。



Photo ねこさん

程よく煮えた頃合いを見計らって早速食べ始めます。ちょうど夕飯の頃合いと重なり皆空腹だったのか、すぐに一回めの鍋が空になり、立て続けに二回めの鍋を作るほど好調な売れ行きでした。



Photo ねこさん

上空は相変わらず雲が広がり、1等星だけがうっすらとにじんで見える見栄えのしない空。今年の悪天を象徴するかのように久し振りに顔を会わせるメンバーも多く、皆で歓談の花を咲かせていましたが、徐々に風が強くなり始め体感温度も一気に下がり戦意喪失。私とヒデアキさんは諦めモードで一旦機材を撤収しますが、やがて風も収まり再び皆で待機モードに。

22 時頃になり突如天頂から南側が晴れ始め、オリオンや冬の対象が姿を現しました。下界にも雲海が張り出したおかげで、ここ太郎坊にしてはかなり透明度の高い空です。

うらしまさん撮影の貴重なワンカット。対角魚眼により南東方面を狙った構図です。まるで夜明けの様ですが、これは眼下の御殿場市の灯りが雲海に反射してこのような様相を見せています。実際にはこれほど明るくは感じませんが、写真だとここまで明るく写るものなんですね。



Photo うらしま

オリオン周辺が晴れてきました。相変わらず不安定な空模様で重量級の機材を出すには一抹のためらいがありました。うらしまさんがペンタックスの75ED+F2のお手軽モードでセットされていたので、皆でオリオン周辺の重星を幾つか観望。シンチレーションもまずまずで、リゲルも50倍で容易に分離して見えます。



Photo ねこさん

前回の記事でちょっと話題になった R-Lep(うさぎ座 R 星)も極大に向かって増光中で随分見易くなっており、やや眠い空でしたが双眼鏡で見た感じでは7等級後半と見積もりました。やや光量不足でクリムゾンスターと呼ばれるほどの深紅さは感じられませんでした。それでも周りの星の中でも際立って赤く妖しい輝きを見せていました。双眼鏡でも確認できる光度なので、この冬の間は光度の変化を追跡してみようかな。ついでに西の空に傾いた O-Cet(ミラ)も雲間から見ましたが、5等級まで増光して肉眼でも容易に確認出来ました。変光星は激変光星を除き一晩の変化に乏しい事から、普段は好んで見る対象ではありませんが、今夜は運よく極大前の大物を2つも楽しむ



Photo ねこさん

ことが出来て貴重な一夜でしたね。

やがてまた雲が全天を覆い隠してしまい、夜半過ぎまで待機したものの明日の天候を考えるとこのまま回復の見込みなしと判断し、最後に全員揃って記念撮影の後に解散となりました。来週29日も定例観望会が開催されるので、何とか都合を付けて秋の夜長を楽しみたいものです。

了